

ふな はし 舟橋 たかゆき

たてやまの勇氣 (44才)



説明する責任！ 行動する責任！

【元気創造館】



(仮称)元気創造館正面(イメージ)

Q₁ 保健福祉総合施設建設構想とは

A₁ この施設は、立山町第8次総合計画（平成13～22年度）に位置づけられた、町の懸案事項です。ちなみに図書館も手狭であると記載されています。しかし、これまで建設場所、国庫補助金など財源確保の問題等から、計画が進みませんでした。

これまでの経緯は

- 平成13～14年 富樫町長時代に立山土木事務所南側で予定。総務省の有利な補助事業活用を検討するも、取りやめ。（活用例：上市町保健福祉センター）
- 平成16～17年 前町長が、農水省の補助事業の活用を検討することを表明。公民館程度のものしか建設できないと判明したため、断念。
- 平成18年 「五百石駅と一体化した保健福祉総合センター」を公約に掲げた舟橋貴之が町長に。県庁から専門職員を派遣。また各種団体で構成する委員会を設置し、図書館や集会場等の機能を併せ持つ現在の「元気創造館」構想をまとめる。
- 平成19年 現町長は国土交通省の「まちづくり交付金事業」の活用を決断。以前、農協有志から町に要望もあったことから農協五百石支店敷地で建設を検討し、半年をかけて用地交渉。しかし、農協から必要面積の提供はされなかったため、この地をあきらめ、建設場所の変更を議会に説明し、了承を得る。
- 平成20年 現敷地を想定したコンサルタント契約を平成20年度で予算化。
 - 9月 議会の多数により別の場所、保健福祉センターのみでの建設を決議。これでは国庫補助事業の対象とならないため、町長は事業凍結を表明。
- 平成21年 国土交通省と補助拡充等を協議。
 - 9月 議員有志が勉強会を開催。議会が多数により、五百石駅前での元気創造館の建設促進を決議。

※国土交通省「まちづくり交付金事業」 保健福祉センター単体のみでは事業採択は困難。
 総事業費 18.2億円（うち国庫負担5.8億円 起債8.5億円 一般財源3.9億円を見込む）

